



30

せいりゅうこう いけ 清流溝と池

鹿児島県知覧町大字郡上郡地区

知覧町は薩摩半島の南部にある人口1万5000人、銘茶の産地としても有名な町である。太平洋戦争の末期には海軍の特攻基地となり、1000有余の若人が飛びたった地でもある。〔文化・観光〕武家屋敷と庭園、特攻平和観音

知覧町は、島津氏四代忠宗の三男忠元の入府以来、島津氏の所領として治められてきた城下町である。

県の施工する都市計画道路の実施を機会に、町では道路内に水路の設置を提案し、湧き水を導水して清流をつくり出し、道路上から電柱、電線を排除し、うるおいとやすらぎのある歩道づくりを行った。通りは藩政時代の外城のおかれた地区に近く、薩摩の小京都と呼ばれている歴史のある地区にあることから、これらにふさわしい地域づくりを行ったのである。

清流には鯉や鱒が泳ぎ、流れの途中には池が設けられ、木陰をつくりベンチを設置し、水車なども取り入れられ、道行く人々の目を楽しませ心をなごませている。

